

# 個人発表

## 個人発表 第1会場 (11日 202教室)

司会：渡部 淳 (日本大学)

中山 京子 (帝京大学)

- 14:00～14:30 ICT を用いた異文化トレーニングの基礎的研究 ……50  
—本教育支援システムの特徴および実践における可能性と課題の考察から—  
加藤 優子 (仁愛大学人間学部コミュニケーション学科)
- 14:30～15:00 デジタル教材制作を通じた異文化間教育の方法 (2) ……52  
村田 雅之 (東京工芸大学芸術学部デザイン学科)
- 15:00～15:30 Web2.0 を活用したプロジェクトベースの国際テレコラボレーション ……54  
授業  
—外国人日本語学習とデジタルリテラシーのオーセンティック・ラーニング—  
青木久美子 (放送大学 ICT 活用・遠隔教育センター)
- 15:30～16:00 日本語版アニメをアメリカの小学生はどう見たのか ……56  
—注視度と質問紙によるアメリカ3小学校での調査から—  
塚本美恵子 (駿河台大学メディア情報学部)
- 16:00～16:30 タイの日本語教育現場におけるタイ人教師と日本人教師の〈分離〉と ……58  
〈融和〉  
—共生の場への適用を目指して—  
香月 裕介 (大阪大学大学院言語社会研究科)
- 16:30～17:00 日本語プログラムが創る多言語多文化共生学習の可能性 ……60  
—留学生日本語授業のボランティア一般大学生の学びとは—  
杉原 由美 (桜美林大学基盤教育院日本語プログラム)

個人発表 第2会場 (11日 204教室)

司会：稲田 素子 (東京学芸大学)

渋谷 真樹 (奈良教育大学)

- 14:00~14:30 小学校外国語活動における外国語指導助手の役割と課題……………62  
—異文化間教育の視点からの一考察—  
大谷みどり (島根大学)
- 14:30~15:00 文化的応答性のある教員・保育者を育てるために (2) ……………64  
—経験と理論を結ぶ取り組み—  
内田 千春 (名古屋女子大学文学部児童教育学科)
- 15:00~15:30 「自己をふりかえる」ための異文化間教育の実践報告……………66  
—教師希望学生の「気づき」の考察—  
齋藤 真宏 (旭川大学)
- 15:30~16:00 インターナショナル・スクールにおける日本語教育プログラムに……………68  
関する研究  
—シンガポール駐在員家族の学校選択への影響を中心として—  
岩崎 未来 (お茶の水女子大学大学院人間文化研究科人間発達科学専攻)
- 16:00~16:30 中学校における国際理解教育の取組実践から……………70  
—多様な人々と共に生きる生徒を育てる—  
大栗真佐美 (京都市立向島中学校)
- 16:30~17:00 多文化な子どもを取り巻く人々の意識における変容……………72  
—大阪市内の多文化な子どもへの定期テスト実施状況から—  
坪内 好子 (多文化な子どもへの学習支援教室 「サタディクラス」  
大阪府立今宮工科高校定時制特別非常勤講師)

個人発表 第3会場 (11日 205教室)

司会：国枝 マリ (津田塾大学)

徳井 厚子 (信州大学)

- 14:00~14:30 食生活における異文化間コミュニケーションと語学ニーズ分析：……………74  
福岡県の例から  
津田 晶子 (中村学園大学短期大学部食物栄養学科)
- 14:30~15:00 フィリピン系ニューカマー 1.5世・2世のネットワーク形成……………76  
—教会を中心として—  
三浦綾希子 (一橋大学大学院社会学研究科)
- 15:00~15:30 人々の日常実践としての多文化共生……………78  
—コミュニケーションの視点から問い直す—  
中島 葉子 (椋山女学園大学)
- 15:30~16:00 インタビューを通して「異文化協働」はどのように語られて……………80  
いたのだろうか  
—国際ボランティア・プロジェクトのフィールドワークにおける内省的分析から  
出口 朋美 (大阪大学工学部留学生相談部)
- 16:00~16:30 軽度知的障がいを持つ日系アルゼンチン人生徒への算数の……………82  
学習支援に向けて  
—加減算の文章題におけるつまずきの分析—  
佐々木奈月 (東北大学大学院文学研究科)

個人発表 第4会場 (11日 302教室)

司会：斎藤ひろみ (東京学芸大学)

松尾 知明 (国立教育政策研究所)

- 14:00~14:30 中国出身生徒のための教科内容重視の取り組み……………84  
—大阪・公立中学校教師の歩みにそくして—  
平尾 亮子 (首都大学東京大学院人文科学研究科人間科学専攻教育学教室)
- 14:30~15:00 関西の公立中学校におけるニューカマー生徒への教育支援に……………86  
関する考察  
—学校文化への適応との関係性に注目して—  
潘 英峰 (大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程)
- 15:00~15:30 海外の初等中等教育機関における日本語教育の可能性……………88  
—フィリピンの元児童による10年後の振り返りから—  
松永 有加 (早稲田大学大学院日本語教育学研究科)
- 15:30~16:00 中国系ニューカマー女子生徒の進路選択……………90  
—家族の教育戦略とジェンダー意識との関連から—  
趙 衛国 (日本学術振興会 (法政大学社会学部))
- 16:00~16:30 ニューカマーの子どもに対する実践をめぐる教師の思考……………92  
—対処方略の構築と採用における葛藤を中心に—  
金井 香里 (東京大学大学院教育学研究科)
- 16:30~17:00 在日中国人生徒の進学選択について……………94  
—日中両国の教育事情の相違から—  
李 原翔 (東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科)

個人発表 第5会場 (11日 303教室)

司会：白土 悟 (九州大学)

倉地 暁美 (広島大学)

- 14:00~14:30 日英二言語使用によるコミュニケーション促進のための授業……………96  
—日本人学生と留学生の相互行為を引き出す翻訳作業を通して—  
田崎 敦子 (東京農工大学国際センター)
- 14:30~15:00 短期留学生における異文化適応に関する探索的調査研究……………98  
—主観的適応感と関連要因を探る—  
園田 智子 (群馬大学国際教育・研究センター)
- 15:00~15:30 「留学生による授業」を活用した異文化理解教育の展開……………100  
—第1報:「留学生が先生!」教育プログラムの22年—  
堀内 一男 (公益財団法人国際理解支援協会・前跡見学園女子大学)
- 15:30~16:00 FACTORS NECESSARY TO INCREASE UNIVERSITY-LEVEL……………102  
FOREIGN STUDENTS' SATISFACTION  
Margit Krause-Ono, Naoko Yamaji (Muroran Institute of Technology)
- 16:00~16:30 留学生と日本人学生の混合クラスにおける「人権教育」の実践……………104  
—効果的な学習テーマ—  
宮本 美能 (大阪大学人間科学研究科)
- 16:30~17:00 中国語を母語とする大学院生の日本語学習への動機づけ……………106  
—自己決定理論の視点から—  
千葉 朋美 (大阪大学大学院言語文化研究科)

個人発表 第6会場 (11日 402教室)

司会：鈴木 一代 (埼玉学園大学)

末藤美津子 (東京未来大学)

- 14:00~14:30 韓国における多文化教育…………… 108  
—多文化家族支援センターを中心に—  
呉 世蓮 (早稲田大学大学院教育学研究科)
- 14:30~15:00 アメリカにおける多文化教育の教員研修…………… 110  
—北東部コネティカット州を事例として—  
井田 頼子 (東京大学大学院教育学研究科)
- 15:00~15:30 アメリカの大学におけるアカデミック・キャピタリズムのあり方…………… 112  
—アメリカの大学教授へのインタビュー分析を通して—  
塚本 鋭司 (愛知大学国際コミュニケーション学部)
- 15:30~16:00 ドイツ・ハンブルク州の二言語学級における取り組み…………… 114  
立花 有希 (早稲田大学 (非常勤))
- 16:00~16:30 社内英語化によるグローバル企業の異文化化…………… 116  
—自叙伝ナラティブを通じた組織英語化に関する一考察—  
小坂 貴志 (神田外語大学外国語学部英米語学科)
- 16:30~17:00 トランスナショナル空間におけるコスモポリタンな日本人性の構築…………… 118  
—ロサンゼルス日本人家族を事例に—  
額賀美紗子 (和光大学現代人間学部)

個人発表 第7会場 (11日 403教室)

司会：山本 雅代 (関西大学)

恒吉 僚子 (東京大学)

- 14:00~14:30 国際結婚家庭の子ども…………… 120  
—家庭内言語・文化とアイデンティティ—  
敷田 佳子 (大阪大学大学院人間科学部教育文化学研究室)
- 14:30~15:00 国際結婚家庭の外国人母親の母語教育と子育てとの関わり…………… 122  
—タイ人母親へのインタビュー調査から—  
谷口(井手)恭子 (大阪大学大学院)
- 15:00~15:30 国際結婚に伴う子どもの移動と滞日経験…………… 124  
坪田 光平 (東北大学大学院教育学研究科)
- 15:30~16:00 日本語学習と日本語継承語話者のアイデンティティ…………… 126  
佐藤 慎司 (コロンビア大学)
- 16:00~16:30 ある言語少数派の子どもの言語生態の様相…………… 128  
—2言語による学習支援を4年間継続して受けた子どもの場合—  
滑川恵理子 (お茶の水女子大学大学院人間文化研究科)
- 16:30~17:00 発達移行期における異文化間移動と自己呈示の変容…………… 130  
—中国からの渡日生徒の実例を通して—  
林 衣芳 (同志社女子大学国際社会システム研究科)

個人発表 第8会場 (12日 202教室)

司会：手塚千鶴子（慶応義塾大学）

- 14:10～14:40 大学の国際化に関する教員・職員の意識調査…………… 132  
—国際化への対応を目指して—  
安達 理恵（愛知工科大学基礎教育センター）
- 14:40～15:10 大学生は「内向き志向」か？…………… 134  
—大学生の海外に向かう意識の調査結果報告—  
赤崎 美砂（淑徳大学国際コミュニケーション学部）

個人発表 第9会場 (12日 205教室)

司会：野山 広（国立国語研究所）

- 14:10～14:40 多文化クラスの授業デザインに関する一考察…………… 136  
—CALLAモデルに基づく学力保障の試みに向けて—  
松尾 知明（国立教育政策研究所・初等中等教育研究部）
- 14:40～15:10 英会話授業を通じた異文化適応の成果の一例…………… 138  
—再履修生が語る異文化理解の授業効果について—  
大味 潤（東洋大学経営学部, 尚美学園大学総合政策学部・芸術情報学部）



# 共同発表

## 共同発表 第1会場 (11日 203教室)

司会：工藤 和宏 (獨協大学)

- 14:00～15:00 EPA 医療人材と受け入れ施設の関係性…………… 140  
—時間経過による変化と地域性に着目して—  
浅井亜紀子 (桜美林大学リベラルアーツ学群)  
箕浦 康子 (お茶の水女子大学)  
宮本 節子 (兵庫県立大学環境人間学部)
- 15:00～16:00 EPA 医療人材をめぐる報道の内容分析…………… 142  
—時間経過によるネット記事の変化を中心に—  
宮本 節子 (兵庫県立大学環境人間学部)  
中野 祥子 (兵庫県立大学大学院環境人間学研究科)

## 共同発表 第2会場 (11日 301教室)

司会：高井 次郎 (名古屋大学)

- 14:00～15:00 博学連携的な教育活動から異文化間能力の育成を考える…………… 144  
岩本 貴永 (桜美林草の根国際理解教育支援プロジェクト)  
清水 貴恵 (桜美林大学基盤教育院)
- 15:00～16:00 日本とフランスの文化的アイデンティティの相違に関する考察…………… 146  
江里口歡人 (玉川大学学術研究所)  
小林 亮 (玉川大学教育学部)  
加藤友一朗 (玉川大学大学院教育学研究科教育学専攻)  
田中 渚 (玉川大学大学院教育学研究科)  
小笠原啓太 (玉川大学大学院教育学研究科)
- 16:00～17:00 児童・生徒の原因帰属とセルフ・エスティームについて…………… 148  
—文化比較的視点から—  
加藤友一朗 (玉川大学大学院教育学研究科教育学専攻)  
小林 亮 (玉川大学教育学部)  
江里口歡人 (玉川大学学術研究所)

共同発表 第3会場 (11日 304教室)

司会：原 裕視 (目白大学)

- 14:00~15:00 海外留学から帰国した日本人学生を対象とした留学後教育…………… 150  
—ケアとキャリア形成のための自助グループの試み—  
高濱 愛 (一橋大学法学研究科)  
田中 共子 (岡山大学社会文化科学研究科)
- 15:00~16:00 日本語学校生における心理状態の質的分析…………… 152  
—言語的・非言語的表現から見えるもの—  
藤 美帆 (九州大学大学院比較社会文化学府)  
大田 裕子 (福岡成蹊学園)
- 16:00~17:00 日本語学習者が読解教材から連想するイメージ…………… 154  
—PAC分析法を活用した留学前・中・後の縦断研究から—  
丸山 千歌 (横浜国立大学)  
小澤伊久美 (国際基督教大学教養学部日本語教育課程)

共同発表 第4会場 (12日 302教室)

司会：奥田 純子 (コミュニカ学院)

- 14:10~15:10 日本語学習動機の検討…………… 156  
—韓国・台湾・米国・豪州・日本間の比較—  
櫻坂 英子 (駿河台大学)  
内藤伊都子 (駿河台大学心理学部)
- 15:10~16:10 尼崎地域の「ボランティア日本語教室」における学習者, …………… 158  
指導者の現状と特徴  
—大学と地域の協働と支援に向けて—  
越山 泰子 (関西国際大学教育学部英語教育学科)  
飯島有美子 (関西国際大学人間科学部ビジネス行動学科)  
齊藤 真美 (関西国際大学人間科学部)

## ケース／パネル

### ケース／パネル 第1会場 (12日 301教室)

- 15:10～16:40 多文化住民散在地域における学習・生活支援体制の構築に向けて…………… 160  
—福岡県と福島県の事例から—
- 共同発表者 伊藤亜希子 (山梨大学大学教育研究開発センター)  
共同発表者 三木 一司 (近畿大学九州短期大学保育科)  
共同発表者 藤田 美佳 (神奈川大学人間科学部, 法政大学キャリアデザイン学部)  
ディスカッサント 見世千賀子 (東京学芸大学国際教育センター)  
司会者 吉谷 武志 (東京学芸大学国際教育センター)

### ケース／パネル 第2会場 (12日 303教室)

- 15:10～16:40 日系国際児のアイデンティティ形成とその支援…………… 162  
—国際比較—
- 共同発表者, 司会者 鈴木 一代 (埼玉学園大学人間学部)  
共同発表者 高橋 順子 (クリスチャン・アカデミー・ジャパン)  
ディスカッサント 新田 文輝 (吉備国際大学)  
ディスカッサント 佐野 秀樹 (東京学芸大学教育学部教育心理学講座)

### ケース／パネル 第3会場 (12日 304教室)

- 15:10～16:40 帰国生徒のライフヒストリーに関する調査研究…………… 164
- 共同発表者, 司会者 稲田 素子 (東京学芸大学国際教育センター)  
共同発表者 岡村 郁子 (お茶の水女子大学グローバル教育センター)  
共同発表者 小澤理恵子 (山梨大学)  
共同発表者 渋谷 真樹 (奈良教育大学教育学部)  
ディスカッサント 佐藤 郡衛 (東京学芸大学国際教育センター)

# ポスター発表

6月12日(日) 13時30分～15時

ポスター発表 第1会場 (12日 203教室)

- 在日フィリピン人青年の文化的アイデンティティに関する心理社会的課題と展望…………… 166  
津田友理香 (明治学院大学大学院心理学研究科心理学専攻臨床心理学コース)  
いとうたけひこ (和光大学)  
井上 孝代 (明治学院大学)
- カンバセーション・パートナー・プログラム参加者の異文化対処力の変化…………… 168  
上田 美紀 (中部大学日本語教育センター)  
渡辺 民江 (中部大学日本語教育センター)
- 地域社会への参加による学びから異文化間能力の育成を考える…………… 170  
清水 貴恵 (桜美林大学基盤教育院)
- アジア学生文化の変容に関する国際比較研究…………… 172  
—日本・台湾・中国・韓国・タイ5地域の時系列的分析—  
坪井 健 (駒澤大学)
- 海外での異文化体験と学校教員の力量形成…………… 174  
—タイ派遣日本語教員経験者へのアンケート調査から—  
浜田 麻里 (京都教育大学)

ポスター発表 第2会場 (12日 204教室)

- 「大人のネットワーク」は「子どものセーフティネット」…………… 176  
—外国人散在地域における子どもの教育支援ハンドブック作成過程からの考察—  
土屋 千尋 (帝京大学文学部教育学科)  
内海由美子 (山形大学)  
齋藤 昭子 (山形県立庄内総合高等学校)  
関 裕子 (筑波大学)
- 国際児の二言語に媒介された社会文化的活動への参加過程 (2) : …………… 178  
—現地校・補習校の宿題遂行過程の分析—  
ビアルケ (當山) 千咲 (ミュンヘン日本語補習授業校)  
柴山 真琴 (大妻女子大学)  
池上摩希子 (早稲田大学大学院)  
高橋 登 (大阪教育大学)
- 国際理解教育はいかに実施されてきたか…………… 180  
—長野県の小学校での外国語活動導入以前の状況—  
小池 浩子 (信州大学教育学部)
- 沖縄へのまなざし…………… 182  
—沖縄体験学習は沖縄をどのように措定するのか—  
吉田 直子 (聖心女子大学大学院文学研究科人間科学専攻 (教育研究))
- 「異言語間教育」を目的とする活動素材集の開発…………… 184  
足立 祐子 (新潟大学国際センター)  
松岡 洋子 (岩手大学)

ポスター発表 第3会場 (12日 402教室)

- 多文化間コミュニケーションの学びのプロセス…………… 186  
—大学生が書いたレポートの質的分析から—  
高木 美嘉 (早稲田大学大学院日本語教育研究科)
- SNS を活用した学習における地域・言語的背景によるハンディキャップの研究 …… 188  
—SNS 利用時の文化的背景に起因する学習機会の損失に関する考察—  
小笠原啓太 (玉川大学大学院教育学研究科)  
齊藤 祐也 (University of London)
- チューター制度による留学生支援…………… 190  
—支援の現状とチューターに求められる資質—  
米田 晃久 (神戸大学大学院国際文化学研究科)
- これからの留学生教育研究…………… 192  
—留学生教育の研究と実践の相互作用を通して検討する—  
有川 友子 (大阪大学国際教育交流センター)
- 青年期在日韓国・朝鮮人のアイデンティティーに関する研究…………… 194  
—歴史認識と言語の視点から—  
徐 明淑 (広島市立大学大学院)